



令和6(2024)年3月

## ●旭川市中央図書館 読み物紹介リスト● 4年生 ①

タイトル	作者	出版社	出版年	価格
1 マネキンさんがきた	村中 李衣／作 武田 美穂／絵	BL出版	2018.4	1300円
サトシとオオルは川でマネキンの頭を拾う。先生をおどろかせるために教室に持っていくとみんな大さわぎ！でもしだいに「マネキンさん」はクラスになじんでいって…。自分とちがうものを受け入れることについて学べる物語。				
2 俳句 <small>はいく</small> ガール	堀 直子／作 高橋 由季／絵	小峰書店	2018.12	1300円
つむぎはおばあちゃんの通うデイサービスで俳句を知る。教室の黒板に俳句を書いてみると、次の日に別の俳句が並んでいた。そのはんには意外な男子で…。人への思いやりと俳句について学べる1さつ。				
3 サーシャはプログラミングが大好き！	サーシャ・アリエル・アルストン／著 バネッサ・ブラントリー・ニュートン／絵	朝日学生新聞社	2019.3	1100円
サーシャはサマーキャンプで「コーディング」のじゅ業を受ける。コーディングを学べばゲームやアプリ、ロボットも作れると知り、その楽しさにひかれていって…。作者の体験をもとに書かれた、プログラミングの手引書。				
4 こどもしょくどう	ひろはた えりこ／文	汐文社	2019.7	1400円
5年生のユウトは、おさななじみのタカシと共に、ある姉妹と出会う。その子たちは親がいなくなり車で寝泊りしていた。ユウトは姉妹にごはんをとどけることにする。「こどもしょくどう」の必要について考えさせられる1さつ。				
5 とりかえっこ	泉 啓子／作 東野 さとる／絵	新日本出版社	2020.3	1500円
おねえちゃんのいるチルと、弟のいるすみれ。二人はおたがいがうらやましくて、相手になったふりをして遊んでいたら、ひよんなことから本当に入れかわってしまう！わたしはわたし、ということの大切さに気づく物語。				
6 ぼくたちの緑の星	小手鞠 るい／作	童心社	2020.5	1300円
本も音楽も自分の名前さえもすてられた世界で、ぼくは1まいの地図を見つける。それは世界をすくおうとする人たちが落としたものだった。彼らは緑あふれる平和の星へ旅立とうと計画する。ぼくの目指すその星の名前は？				
7 神様のパッチワーク	山本 悦子／作 佐藤 真紀子／絵	ポプラ社	2020.9	1300円
4年生の結と6年生の香は両親とは血がつながっていないけれど、大切に育てられ、幸せにくらしていた。しかしクラスメイトの心ない言葉で香がきずつけられて…。特別養子縁組(えんぐみ)の家族のきずなをえがいた物語。				
8 セラピードッグのハナとわたし	堀 直子／作 佐竹 美保／絵	文研出版	2020.9	1400円
おばあちゃんの老人ホームでセラピードッグ見習いのハナと出会った花菜。ハナは昔の悲しいきおくから、さびしい目をした犬だった。心配になった花菜は、ハナの訓練を手伝うことに。犬と人とのつながりをえがいた物語。				
9 おじいちゃんとの最後の旅	ウルフ・スタルク／作 キティ・クローザー／絵	徳間書店	2020.9	1700円
入院中のおじいちゃんはきたない言葉ばかり使うので、パパはあまり会いたがらない。でもぼくはおじいちゃんが大好き。ある日、ぼくはおじいちゃんと病院からぬけ出すカンペキな作戦を立てる。愛する人との別れの話。				
10 わたしのあのこあのこのわたし	岩瀬 成子／著	PHP研究所	2021.2	1400円
秋は友だちのモッチの弟が大切なレコードをきずつけたことがゆるせず、強い言葉でモッチをせめる。2人の心はずれ違いうけれど相手を想う気持ちは変わらなくて…。それぞれの立場からえがかれる女の子の友じょうの物語。				

タイトル	作者	出版社	出版年	価格
11 ゴリラとわたし	フリーダ・ニルソン／作 ながしま ひろみ／絵	岩波書店	2021.04	1700円
親のいない子どもの家でくらすヨナはゴリラに引き取られることになる。そのくらしは楽しくてヨナは幸せな日々を過ごす、大人たちが2人を引きはなそうとやってきて…。目に見えないものの大切さをえがいた物語。				
12 31センチの約束	嘉悦 洋／文 ながん／絵	西日本新聞社	2021.05	1200円
サラは白血病になって髪(かみ)の毛がぬけてしまった親友に、自分の髪をきふしようと決意する。バレー部はショートカットにするのが決まりなのに、髪をのばし続けるサラはいやがらせを受けるが…。感動の友しよう物語。				
13 トムと3時の小人	たかどの ほうこ／作 平澤 朋子／絵	ポプラ社	2021.06	1380円
つとむは小道具屋で見た本が気に入り、図書館で同じ本をさがして読んでみたが、少年トムと小人の話がとちゅうで終わっていた。気になってまた小道具屋に行ったつとむに起こった不思議なことは、わくわくファンタジー。				
14 クリスマス・ピッグ	J. K. ローリング／著 ジム・フィールド／絵	静山社	2021.10	2300円
大切にしていたぬいぐるみDPがいなくなり悲しむジャック。そこへ来たクリスマスピッグはDPのいばしょを知っていた。親友を助け出すため、2人は魔法世界へぼうけんの旅に出る。友しようときずなをえがいたファンタジー。				
15 ぼくらは少年鑑定団！	くすのき しげのり／作 酒井 似／絵	講談社	2022.02	1400円
究はこの町に縄文土器のかけらがうまっていることを知り、友だちと一緒に少年鑑定団を結成する。そして謎の土器を見つけるが、それが大人たちも巻き込んでいく大発見に！鑑定を通して大切なものの価値に気づく物語。				
16 いちげき 一撃をねらえ！	あさだ りん／作 酒井 以／絵	金の星社	2022.5	1400円
奈央は同じ委員会の楽くんを、いつもぼんやりした男の子だと思っていたが、ある日高い石垣をひよいひよい上るところを目撃してしまう(ホントはダメ)。そんな楽くんが連れて行ってくれたところは「ポルダリング」のジムだった。				
17 ニャンの日にまいます！	木内 南緒／作 酒井 以／絵	岩崎書店	2022.9	1200円
川で流されていたねこを助け、カギ助と名付けた晴也。学校でいやな思いをして、カギ助をなでながら眠っちゃったら、カギ助がしゃべりながらあらわれた。でもこのゆめの国、屋間の世界となんだか重なっているみたい。				
18 走れ！家出犬ジェイ	本田 有明／作 雛川 まつり／絵	金の星社	2022.10	1400円
しば犬のジェイはカイトくんが大好きなのに、このごろ気げんの悪いカイトくんにはとばされて家出することにした。外の世界は自由だけれど、いじわるな人やこわいのら犬に出会ったりして、楽しいばかりじゃなかったんだ。				
19 えんぴつはだまって	あんず ゆき／作 たごもり のりこ／絵	文溪堂	2022.11	1400円
学校でひろったえんぴつから出てきたのは、ようかい？…じゃなくて、古いものにやどる「つくも神」だった！ガラクタたちががすてられないようにみんなで大作戦が始まったが、なんと理科室のガイコツまでしゃべり出した！？				
20 ブックキャット ネコのないしょの仕事！	ポリー・フェイバー／作 クララ・ヴリアミー／絵	徳間書店	2023.3	1700円
戦争中のロンドンで生まれた黒ネコのローガンは、家族と別れてひとりきりになった後、出版社に住み着いて働くことになった。仲間によびかけてネズミをたいじし、作家たちの手伝いも。ネコがたくさん出てくるユニークなお話。				

この読み物リストは、ここ5年くらいの間に出版された本の中から、中央図書館の児童担当司書が実際に読んでみて、小学生のみんなにも読んでほしい！と思ったお話を集めて、一冊2行(およそ100文字)で紹介したものです。(課題図書・指定図書に選ばれたものは入っていません)